

150正會員 現場見学会など継続

福井県コンクリート診断士会

21年度総会開く

福井県コンクリート診断士会（山川博樹会長）

は6月25日、21年度の定期総会をオンラインで開催し、20年度の事業報告・決算、および21年度の事業計画・予算案を原案通り、すべて了承した。

設立18年目を迎え、正会員数が前年度に150人に到達した（東京士会に次ぐ規模で、人口10万人当たり登録者数5年連続全国トップ）。



山川 博樹 会長

【20年度実施事業】

- 研修会
 - ・第111回 技術交流会～会員によるコンクリート診断等の事例発表
 - ・第112回 福井県橋梁定期点検マニュアル改訂の研修会
 - ・第113回 小舟馬巢谷橋床版取替工事 見学会
 - ・第114回 小舟渡橋&宮前川鉄道橋 現場見学会
 - ・第115回 足羽川ダム現場見学会
 - ・第116回 オープンセミナー 多発する自然災害、これから求められる技術者の使命と役割
 - ・第117回 鉄道構造物の検査・診断に関する研修会（判定会議）
- 行政への協力・支援
 - 県道路メンテナンス会議主催の研修会へ協力支援（学生向け現場学習会の開催）
- 地域鉄道会社への協力支援
 - ・鉄道施設の検査・診断等の支援に関する協定締結
 - ・えちぜん鉄道の鉄道橋検査結果判定会議
- コンクリート診断士受験者のための支援
- 日本コンクリート診断士会への協力支援 石川裕夏幹事が理事として参画
- 北陸インフラ総合連絡会議への協力支援

21年度事業計画によると、地域を支え、コンクリート診断士の継続教育として、現場見学会や技術交流会など8回ほど開催予定。地域密着型の地域貢献活動として、地元

自治体に対する技術支援や協働、県道路メンテナンス会議支援・連携。地域のコンクリート構造物の現状や維持管理の重要性を伝える活動として、フクイ建設技術フェア出展や、オープンセミナー

開催など。地域を中心とした信頼のネットワークの構築へ、日本コンクリート診断士会への参画や、他地区の診断士会との交流、インフラメンテナンス国民会議（国土交通省）への参画等を行う。